

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備		事業番号	38	事業名	道路改築 (国道・小規模改築)			
市町村名	ながのし 長野市		箇所名	(国)406号 新倉			事業年度	年度 ~		年度	
事業概要	計画概要 <small>(延長・幅員・面積・工種など)</small>	道路築造工 L=640m w=6.0(9.75)m					H22年度末事業進捗率	0 %			
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0 %			
	H23年度実施内容	-					用地補償費ベース	0 %			
	年度	全体事業費		H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残				
	事業費計(千円)	480,000		0	0	0	480,000				
財源内訳	国庫支出金	264,000		0	0	0	264,000				
	その他										
	県債	151,200		0	0	0	151,200				
	一般財源	64,800		0	0	0	64,800				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部		政策評価課	
								ランク	評点	ランク	評点
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上			1,500台以上~10,000台/日未満	1,500台未満	A	2	A	2
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある			2		2
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある			駅やインターチェンジが20km以上にある	駅やインターチェンジに通じる路線でない		5		5
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である			山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する	山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない		4		4
		各事業特有の必要性(安全の確保)	観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない			2		2
			5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)			5.5m以上6.5m未満(幅員)	6.5m以上(幅員)		4		4
		歩道未整備区間に歩道を設置			歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し		4		4
	小計							23		23	
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)			県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)	該当なし	C	0	C	0
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い	環境配慮をしていない		2		2
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている			緊急輸送路(2次)又は、奥産、雪害、過疎に位置付けられている	特別な位置づけはない		3		3
		小計									5
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0~1.5未満	B/C 1.0未満	A	6	A	6
		事業効果の早期発現(H20以降残事業年数)	事業年数 5年未満			事業年数 5年~10年未満	事業年数 10年以上		5		5
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	コスト縮減はしていない		4		4
	小計							15		15	
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない	B	9	B	9
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する			渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する	渋滞対策ではない		4		4
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に関係ない道路		5		5
	小計							18		18	
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望	特に要望がない	B	3	B	3
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知	特に周知していない		3		3
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない		4		4
小計							10				10
費用対効果(B/C)		3.6			評価の合計			B	71	B	71
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該路線は白馬村から長野市を結ぶ重要な幹線道路であり、第2次緊急輸送路に指定されている。また、長野市西部と市街地を結ぶ唯一の幹線道路である。しかし、現道は幅員狭小の上、線形が悪く、交通の難所であるとともに、事前交通規制区間となっている。拡幅改良により安全で円滑な交通の確保を図る必要がある。									
	地域からの要望経緯	毎年、国道406号整備促進期同盟会より要望書が提出されている。また、毎年、長野市からも要望を受けている。平成22年2月には地元説明会を行い、地元では地権者会を設立する動きがあり、支援の動きが広がっている。									
	事業説明等の経緯	毎年行われている期成同盟会及び現地調査時に、今までの経過及び今後の見込みについて説明を行っている。									
	環境・景観への配慮項目	構造物ではなく、土羽構造による緑化を図り環境へ配慮。									
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。									
特記事項	鬼無里小学校の通学路にも指定されており、道路が狭く、車と歩行者のすれ違いに危険な状況であり、早急な事業着手が望まれる。										
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他		
部意見	事業の必要性及び効率性は高いが地元のルート定着が図られていないため、事業化を見送りたい。				政策評価課		重要性がやや低い。				